



課題設定力

Part II

2020FY

LYST Corporation

➤インプットした情報をアウトプットにつなげる



➤ロジカルシンキングとラテラルシンキングを組み合わせて考える

- ロジカルシンキング（論理思考） | 結論を相手に理解しやすく説明し、説得するための思考法
- ラテラルシンキング（水平思考） | 成熟・飽和した市場や手詰まり感のある職場などで革新的なアイデアを発想する為の思考法

ロジカルシンキングとラテラルシンキングの関係

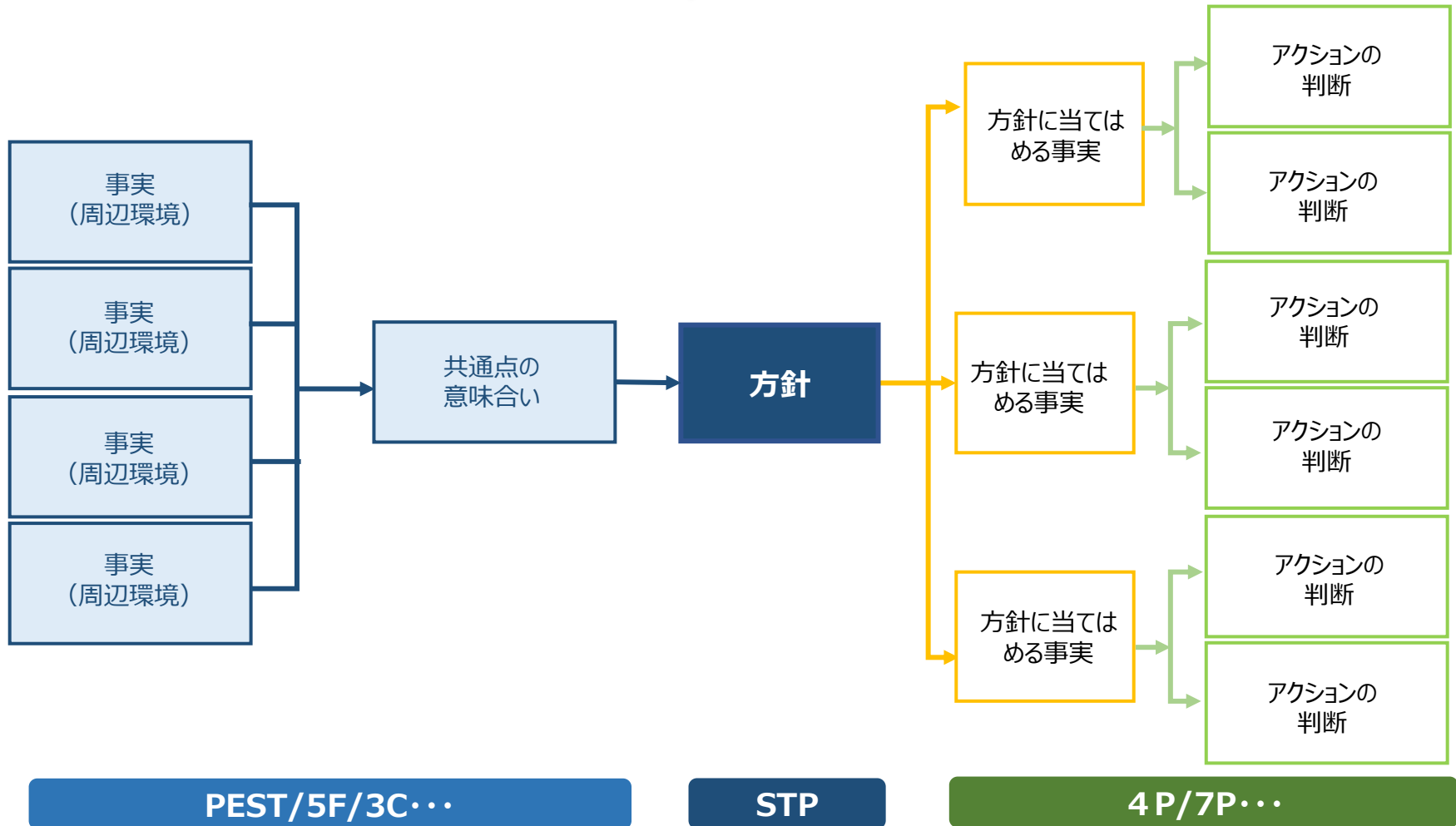


ロジカルシンキング (論理思考)	ラテラルシンキング (水平思考)	
問題の原因を正しく捉えることで解決策を合理的に導き出し、改善や効率性を追求するための思考法	成熟・飽和した市場環境や手詰まり感のある職場環境において革新的な発想を生み出すための思考法	
原因を追究し結果を生み出す 直線的な因果関係思考	特徴	見方をスライドさせて別のやり方を見つけ出す創造的 的思考
イシューツリー、ピラミッドストラクチャー 原因から結果、相関から結論	考え方	前提を疑う（なぜそれをするのか） 問題を逆に考える
MECE 漏れ、ダブりを防いで全体を見る	見方	アイデアワード 、たとえる 横から応用する
フレームワーク 土台を整えた上で議論	意見の出し方	ランダムワード、 6つの帽子 奇抜な組み合わせや視点を変えて議論
改善・効率化 に向いている	When ?	イノベーション に向いている

帰納法と演繹法の合わせ技

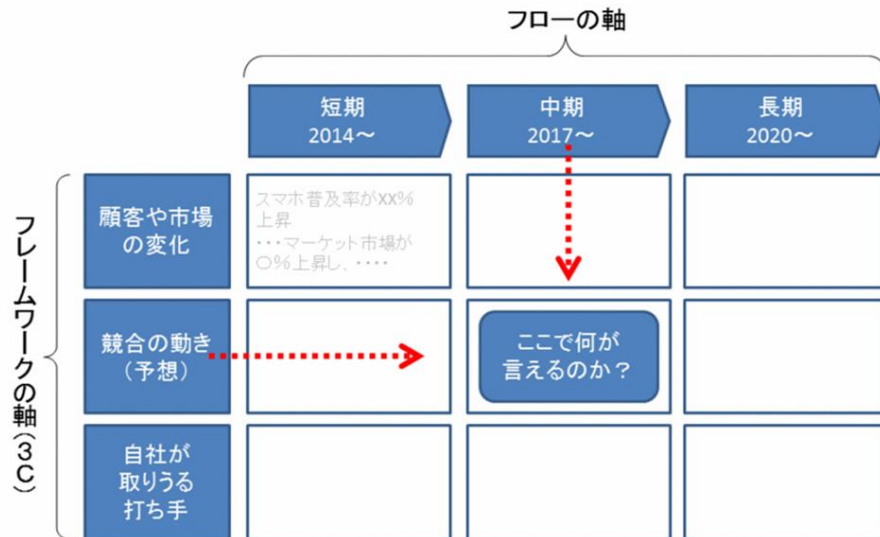
帰納法（ピラミッドストラクチャー）：上流

演繹法（ロジックツリー）：下流



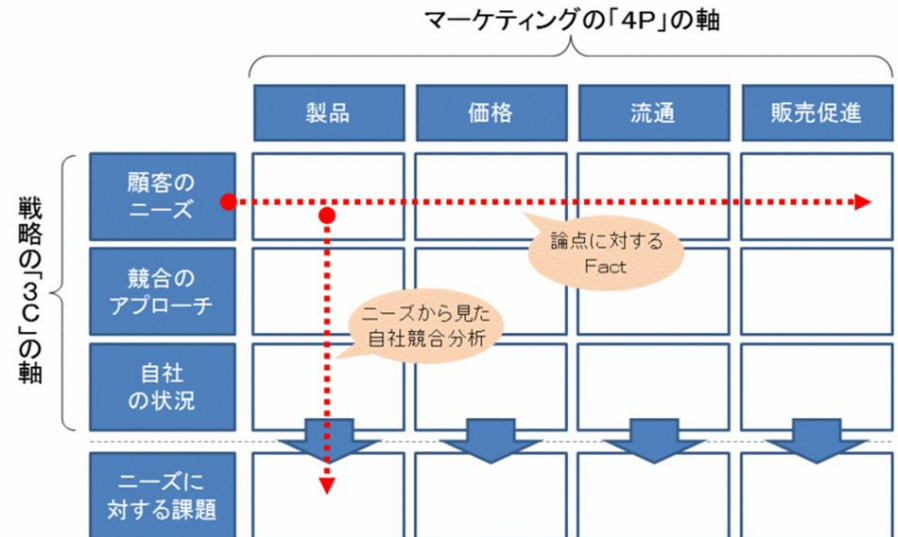
例1 MECE感のある資料の例

- 縦軸×横軸にMECEな考え方を取り入れてみる

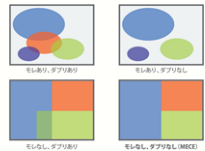


例2 MECE感のあるオリジナル分析フレーム

- 縦軸(3C)×横軸(4P)で分析フレームワークを作ってみる



MECEやフレームワークで切り口を整理する



どの切り口で整理するか？

1

前提を疑う

- 本当に疑うべき問題か？
- **ルール、前提を変える（無視する）**
 イシューツリーを作る前に、前提を疑って考える
 例：そもそもこれは問うべき問題なのか？
 なぜそれを解決しないといけないのか？
 もしもXXの前提が無かったらどうなるのか？

2

イシューツリーで原因と施策を整理する



原因は何か？
どうすべきか？

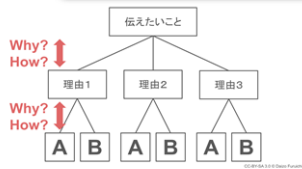
3

見方を変える

- **6ハットで、違う立場で考える**
- **チェックリストで考えを広げる**
- **逆から見る**
 例：売上を向上するには？→売上を下降させるには？

4

ピラミッドで現実的な結論にまとめる



結論は何か？
 ラテラルシンキングで出てきた考えを
 ロジカルシンキングで検証してみる
 例：「営業に行かない営業」は本当に有効なのか？

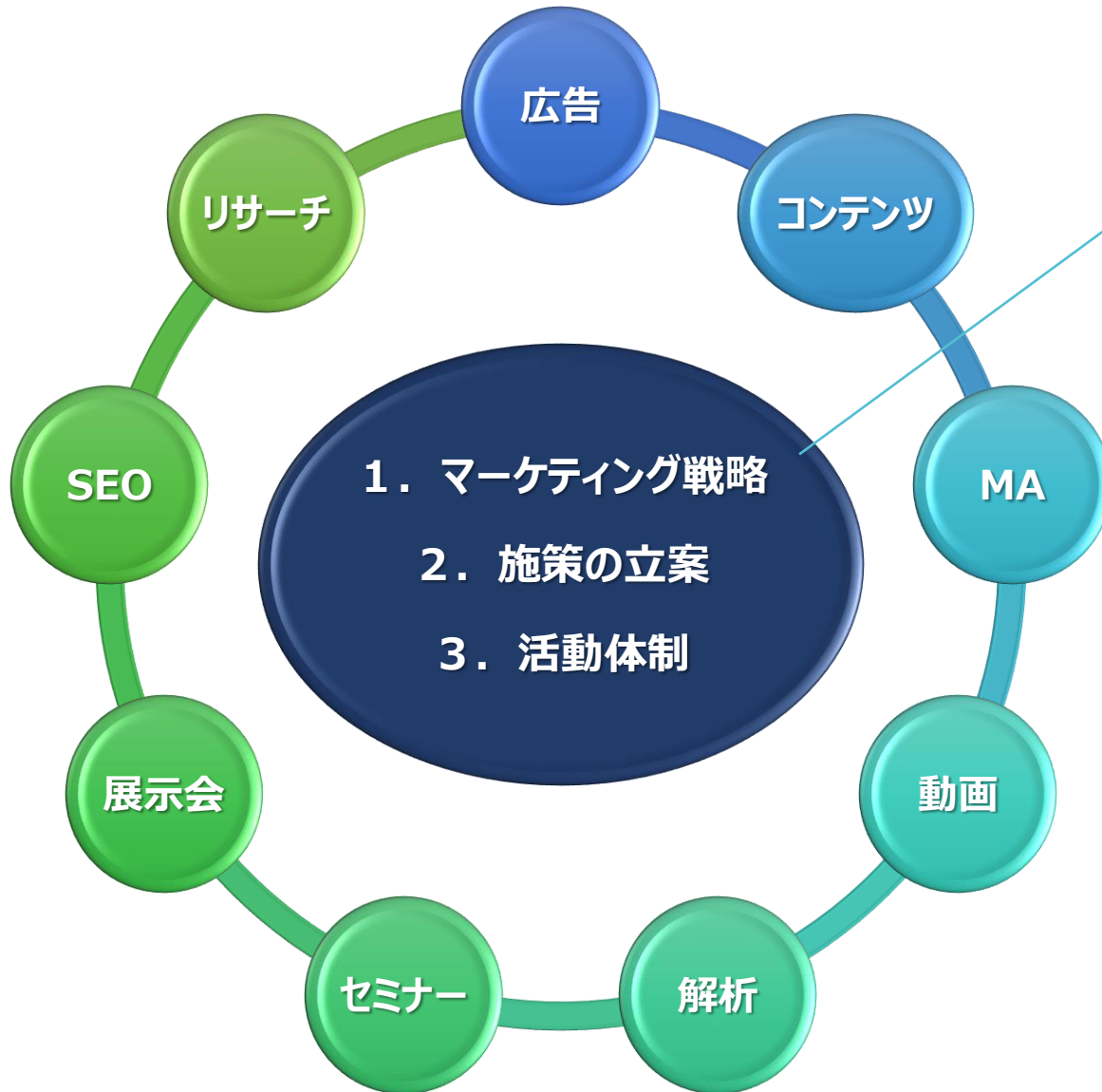
5

組み合わせる

- **ランダムワードで考える**
- **アイデアワードで考える**
- **問題をたどってみる**

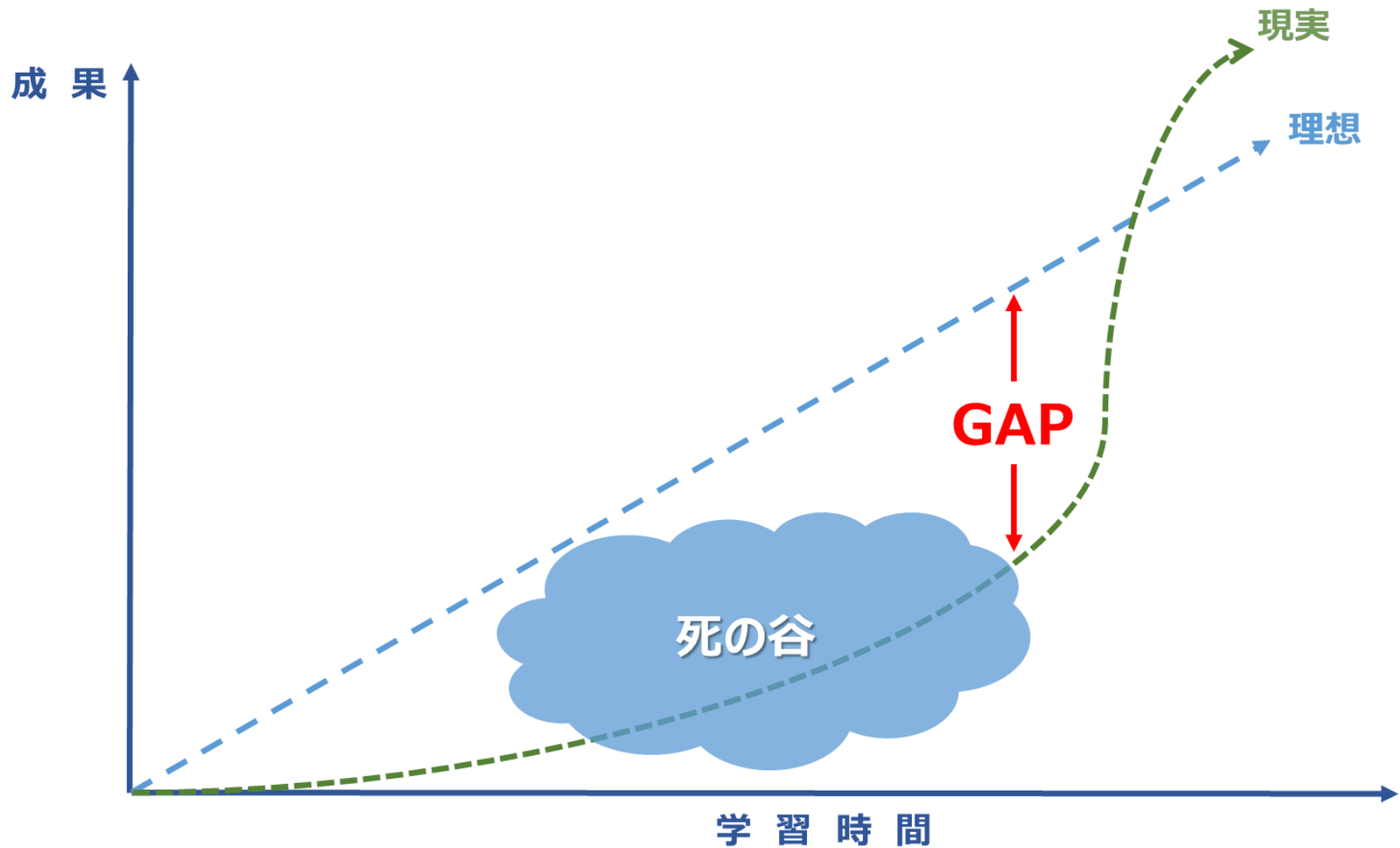
ロジカルシンキング

ラテラルシンキング



起点となるポイントが曖昧なまま始動している

1. それぞれどんな目的で、いつ、どのように使うのか？
2. 実行できる体制であるのか？
3. 経営（全体）戦略に沿っているのか？



顧客への解像度を上げることに時間を使う

インプット (情報)

- 1. 量が少ない
- 2. 質が悪い
- 3. ソース (源) が悪い



インプット (情報)

- 1. 量が多い
- 2. 質が良い
- 3. 関係性ができている

商品・サービス



解像度
が低い

解像度
が高い

担当者

アウトプット (提案・施策)

- 1. 打ち手が少ない
- 2. 精度が低い
- 3. 結果が低くなる



アウトプット (提案・施策)

- 1. 打ち手が多い
- 2. 精度が高い
- 3. 結果が期待できる

セミナーに関するお問合せ／
この資料に関するお問合せ：

株式会社LYST (リスト)

〒104-0043

東京都中央区湊2-6-4 RKビル2F

TEL : 03-6280-4442 (9:30~18:00)

FAX : 03-6280-4482

E-mail : info@lyst.jp

HP : <https://www.lyst.co.jp>

Online Seminar Channel : <https://www.lyst.co.jp/online-seminar>

課題設定カオンラインセミナー一覧：

<https://www.lyst.co.jp/online-seminar-issue-lineup>